

残暑お見舞い申し上げます

猛暑とコロナ真只中の夏、皆様いかがお過ごしでしょうか。新聞の新たな感染者数の欄に毎朝目を通すのが日課になるような、本当に特別な夏になりました。杉並は東京都の中でも多い区に属しており、だからといって特に何ができると言わけではありませんが、現在教室はなるべくスペースを維持すべく、新規入会の受付を見合わせております。早く普通の日常に戻れる日を待ちながら、ともかく今はそれぞれに自分のできることをして、乗り切っていくしかなさそうです。

この夏、私はほとんど家にいる生活になっておりますが、先日かねてから勉強したいと思っていた手道具、ノミとカンナの仕込みの講習がありまして、参加してまいりました。普段彫刻刀は研磨機を使って研ぐことが多いのですが、ノミ、カンナの仕込みを済ませた刃を、裏出し、表の面だし、中砥、仕上げとすべて砥石を使って研ぎました。当日は会場に用意されていたものを使いましたが、なんだか、久々に砥石を使う感触が新鮮で、思わず戻ってから、ずっとしまっばなしになっていた砥石を引っ張り出してしまいました。35年ものの砥石たち、これからは少し出番が増えそうです。

コロナになって新しい生活様式が求められるようになり、確かに不自由ではありますが、だからこそその新しい発見も可能なのかもしれない。でも、まずは健康第一、どうぞ皆様ご自愛くださいませ。

